

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	蒲郡市役所	代表者名	鈴木 寿明
担当者部署	企画部	連絡先電話番号	0533-66-1209
担当者役職	主事補	担当者氏名	北川 加奈葉
住所	443-8601 愛知県蒲郡市旭町17-1	連絡先E-mail	

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	石塚 清香
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	経験をもとにした職員の立場からもわかりやすい講演内容であった。
アドバイザーへの要望事項	なし

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり		
	令和5年6月22日	講演(実地)	無		
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
			13時00分	15時00分	
				活動時間（分）	120
3-2. 派遣場所	会場名	オンライン	最寄駅	オンライン	
	所在地	オンライン	最寄駅からの交通手段	オンライン	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	職員	26 人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果	【目指した成果】業務改善に対する職員の理解、機運醸成を図る内容の講演 【課題】現状の複雑な仕組みを改善しなければならないという認識が薄く、組織的な理解が不足している	
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）		
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	職員が業務やあり方について自ら気づき、考える機運の醸成。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	業務改善に対する職員の理解、機運醸成を図る内容の講演	
支援を受け改善又は解決された内容（具体的にご記入下さい）	現状の業務やそのあり方への認識、改善策の考え方を学んだ。	

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	なし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 研修を受けてDXに関するが深まった。来年度以降はグループワークを取り入れるなど、実際に事例について考えるような内容の研修を考えたい。 アンケート結果については添付のとおりである。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	①予算は確保済みであり、年度内に推進する
事業の最終的な目指す姿	職員が自ら気づき、考え、業務を改善していく機運の醸成。	

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

